

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-321903

(43)Date of publication of application : 12.12.1997

(51)Int.Cl.

H04M 11/00  
H04B 1/16  
H04H 1/00  
// B60R 11/02

(21)Application number : 08-138163

(71)Applicant : DAIHATSU MOTOR CO LTD

(22)Date of filing : 31.05.1996

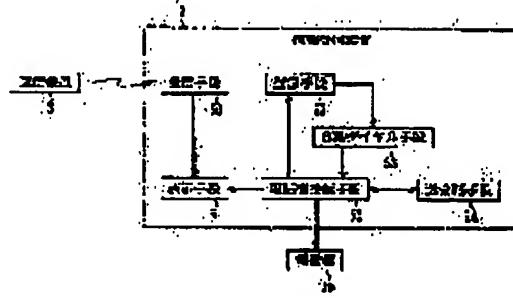
(72)Inventor : MIYAKE KATSUMI

## (54) TELETEXT INFORMATION RECEIVER

### (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide the teletext information receiver in which trouble of making a phone call is relieved, one's hands is prevented from being full during a speech and a connection destination registered to a telephone set main body is easily confirmed.

**SOLUTION:** The teletext information receiver 2 that receives and displays teletext information sent from a transmitter 3 by using a radio wave of a teletext multiplex broadcast is provided with a reception means 50 receiving the teletext information, a display means 51 displaying the received teletext information, a telephone set connection means 52 connecting a telephone set 15 to the receiver, an automatic dial means 53 allowing the connected telephone set 15 to make dialing through the user's selection and a transmission reception means 54 in hand-free via the telephone set 15 for the transmission reception to/from the connected destination.



(19)日本国特許庁 (JP)

(20) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-321903

(43)公開日 平成9年(1997)12月12日

(51)Int.Cl*	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
H 04 M 11/00	3 0 3		H 04 M 11/00	3 0 3
H 04 B 1/16			H 04 B 1/16	G
H 04 H 1/00			H 04 H 1/00	C
// B 60 R 11/02			B 60 R 11/02	W

審査請求 未請求 請求項の数3 OL (全4頁)

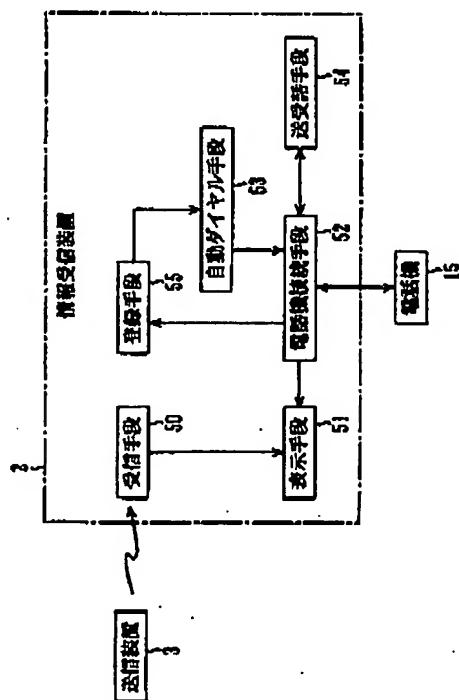
(21)出願番号	特願平8-138163	(71)出願人	000002967 ダイハツ工業株式会社 大阪府池田市ダイハツ町1番1号
(22)出願日	平成8年(1996)5月31日	(72)発明者	三宅 克実 大阪府池田市桃園2丁目1番1号 ダイハツ工業株式会社内
		(74)代理人	弁理士 下市 努

(54)【発明の名称】 文字情報受信装置

(57)【要約】

【課題】 電話をかける際の手間を軽減でき、通話中に手が塞がることを防止でき、また電話機本体に登録された接続先を容易に確認できる文字情報受信装置を提供する。

【解決手段】 文字多重放送の電波を利用して送信装置3から送信される文字情報を受信し表示する文字情報受信装置2において、上記文字情報を受信する受信手段50と、該受信された文字情報を表示する表示手段51と、電話機15を接続する電話機接続手段52と、該接続された電話機15にユーザの選択によりダイヤルさせる自動ダイヤル手段53と、該接続先との送受話を上記電話機15を介してハンズフリーで行う送受話手段54とを備える。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 文字多重放送の電波を利用して送信装置から送信される文字情報を受信し表示する文字情報受信装置において、上記文字情報を受信する受信手段と、該受信された文字情報を表示する表示手段と、電話機を接続する電話機接続手段と、該接続された電話機にユーザの選択によりダイヤルさせる自動ダイヤル手段と、通話先との送受話を上記電話機を介して、かつハンズフリーで行う送受話手段とを備えたことを特徴とする文字情報受信装置。

【請求項2】 請求項1において、上記表示手段が、上記電話機に登録された短縮番号や該電話機における着信等の、電話機に係る機能、状態を表示することを特徴とする文字情報受信装置。

【請求項3】 請求項2において、上記自動ダイヤル手段が、上記接続された電話機に、該電話機に登録された短縮番号に係る電話番号をダイヤルさせることを特徴とする文字情報受信装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、文字多重放送の電波を利用して外部の送信装置から送信された文字情報を受信し表示する文字情報受信装置に関する。

## 【0002】

【従来の技術】 従来、FM電波等による文字多重放送においては、例えればいわゆる「見えるラジオ」がある。この文字多重放送において送信される情報は、一定のフォーマット（例えば、1行15文字で3行）で構成された1画面が1ページとして設定されており、複数のページで1つの番組が構成される。この場合、上記ページの1行目は情報の発信元等を表示するヘッダとして、2、3行目は情報の内容を表示する本文として利用される。

【0003】 上記表示される情報としてはイベント情報、交通情報等があり、また、これらの情報を受信する受信装置には自動車内に取り付けて走行中に交通情報等を表示するようにしたものがある。

【0004】 一方、自動車で走行中に車内で通話が可能な携帯電話があり、安全上の観点から携帯電話機本体を手に持たないで通話を可能にするハンズフリーユニットが考案されている。

## 【0005】

【発明が解決しようとする課題】 ところが、上記従来のハンズフリーユニットは一般にアームレストに取り付けるように構成されているため、軽自動車等の小型自動車の車両サイズによって取付スペースの確保が困難となる場合があり、また上記ハンズフリーユニットは通話の際に機器を手に持たないで済むようにするためにものであるが、発信時や着信時に相手方の電話番号の確認等を行うためには、電話機本体の表示を見る必要があり、結局電話機を手に持つこととなり、ハンズフリーユニットを

備えた効果が軽減してしまう。

【0006】 本発明は、上記従来の問題点に鑑みてなされたもので、電話をかける際の手間を軽減でき、通話中に手が塞がることを防止でき、また電話機本体に登録された接続先を利用することにより、接続先を容易に確認できるとともに、多数の接続先にワンタッチダイヤルをすることのできる文字情報受信装置を提供することを課題としている。

## 【0007】

10 【課題を解決するための手段】 図8に示すように、請求項1の発明は、文字多重放送の電波を利用して送信装置3から送信される文字情報を受信し表示する文字情報受信装置2において、上記文字情報を受信する受信手段50と、該受信された文字情報を表示する表示手段51と、電話機15を接続する電話機接続手段52と、該接続された電話機15にユーザの選択によりダイヤルさせる自動ダイヤル手段53と、該通話先との送受話を上記電話機を介して、かつハンズフリーで行う送受話手段54とを備えたことを特徴としている。

20 【0008】 請求項2の発明は、請求項1において、上記表示手段51が、上記電話機15に登録された短縮番号や該電話機15における着信等の、電話機15に係る機能、状態を表示することを特徴としている。

【0009】 請求項3の発明は、請求項2において、上記自動ダイヤル手段53が、上記接続された電話機15に、該電話機15に登録された短縮番号に係る電話番号にダイヤルさせることを特徴としている。

## 【0010】

【発明の実施の形態】 以下、本発明の実施形態を図に基づいて説明する。図1ないし図7は本発明の一実施形態の情報受信装置を説明するための図であり、図1は上記受信装置を含む放送装置の構成図、図2は上記受信装置を示す図、図3～図7は上記受信装置の表示例を示す図である。

30 【0011】 図において、1は、FM放送による文字多重放送を行う放送装置を示しており、該放送装置1は、文字情報を受信し表示する受信装置2と、該受信装置2に接続された携帯電話機15と、上記受信装置2に無線により情報を送信する送信装置3と、該送信装置3に電話回線4等により交通情報等を入力する入力装置5とを備えている。

40 【0012】 上記受信装置2は、上記受信された文字情報や、上記接続された電話機15に係る機能、状態、例えば上記電話機15に登録された短縮番号や該電話機15における着信等を表示する表示器6を備えており、この表示器6における文字情報の表示ページ、表示位置、表示時間は任意に変更可能に構成されている。

【0013】 また、上記受信装置2は、操作用ファンクションキー11と、カーソルの移動等を行う方向キー（カーソルキー）12と、操作の確定キー13と、キー

ブル14を介して携帯電話機15を接続するコネクタ16と、この接続された電話機15にユーザーの選択により、例えば所定のファンクションキーのオン操作によりダイヤルさせる自動ダイヤル手段とを備えている。

【0014】また、上記受信装置2は、上記電話機15に音声信号を入力するマイク（送話器）17を接続するマイク接続端子18と、上記コネクタ16に接続された電話機15からの音声を出力するスピーカ19とを備えている。

【0015】次に、上記実施形態装置の動作を図3～図7に基づいて説明する。上記コネクタ16に電話機15が接続されている場合に、上記各キー11～13が所定操作されると、上記電話機15に登録された短縮番号の内容（名称、電話番号）がダイヤルメモリとして上記受信装置2内に記憶され、かつ図3に示すように上記受信装置2の表示器6に表示される。

【0016】そして、「短縮番号1～3」の表示に対応したキー（F1～F3キー）の操作によりこの短縮番号に応じた登録内容が表示され、「発信／応答」の表示に対応したキー（F4）の操作により上記表示器6に表示された名称、電話番号への自動ダイヤルが行われ、この後、上記マイク17、スピーカ19によりフリーハンドの送受話が行われる。また、上記電話機15に着信が認識されると、図4に示すように上記表示器6に相手先の電話番号が表示される。

【0017】ここで、上記受信装置2に記憶されたダイヤルメモリの内容を表示器6に表示させる場合、例えば、図5に示すように短縮番号の選択肢として「1～3」の表示が行われている時に上記方向キー12のうちの「下方向キー」を操作すると、図6に示すように「4～6」の短縮番号に登録されている内容が表示される。また、この状態から上記方向キー12のうちの「右方向キー」を操作すると図7に示すように「14～16」の短縮番号に登録されている内容が表示される。

【0018】このように、受信装置2側に設けられたマイク17、スピーカ19により、該装置2に接続された電話機15を介してハンズフリーで送受話をを行うようにしたので、別個独立のハンズフリーユニットを備えることなくハンズフリー送受話を行なうことができ、低コストで電話をかける際の手間を軽減でき、送受話中に手が塞がることを防止できる。

【0019】また、上記電話機15に登録された短縮ダイヤルの内容や該電話機15における着信を、文字情報受信装置2の表示器6に表示するようにしたので、電話機15の表示を見る必要をなくすことができ、電話機15を手に持つ必要がなくなり、ハンズフリーユニットを備えた効果が軽減してしまうことはない。また、このように電話機15の表示を見る必要がないので、電話機自

体の配置位置が自由となり、スペース効率を向上できる。

【0020】また、上記電話機15に登録された短縮番号を、電話機15にダイヤルさせるようにしたので、従来のハンズフリーユニットが3～10件程度の登録件数であったのに対して30～100件の登録が可能であり、多数の相手先にワンタッチダイヤルが可能となり、電話をかける際の手間を軽減することができる。

【0021】

10 【発明の効果】以上のように請求項1の発明に係る文字情報受信装置では、受信装置側に設けたハンズフリー機能により、接続した電話機を介して自動ダイヤルで電話をかけさせるとともに、ハンズフリーで送受話をを行うようにしたので、別個にハンズフリーユニットを備える必要がなく、低コストで電話をかける際の手間を軽減でき、送受話中に手が塞がることを防止できる効果がある。

20 【0022】請求項2の発明に係る文字情報受信装置では、接続された電話機に係る機能、状態を表示するようにしたので、電話機の表示を見る必要をなくすことができ、電話機自体の配置位置上の自由度が拡大され、例えばグローブボックス内等に配置することも可能であり、スペース効率を向上できる効果がある。

【0023】請求項3の発明に係る文字情報受信装置では、電話機に登録された短縮番号に係る電話番号を接続された電話機にダイヤルさせるようにしたので、ワンタッチダイヤル可能件数を大幅に拡大できる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態の文字情報受信装置を含む放送装置の構成図である。

【図2】上記受信装置を示す図である。

【図3】上記受信装置の表示例を示す図である。

【図4】上記受信装置の表示例を示す図である。

【図5】上記受信装置の表示例を示す図である。

【図6】上記受信装置の表示例を示す図である。

【図7】上記受信装置の表示例を示す図である。

【図8】本発明のクレーム構成図である。

【符号の説明】

2 文字情報受信装置

3 送信装置

15 電話機

50 受信手段

51 表示手段

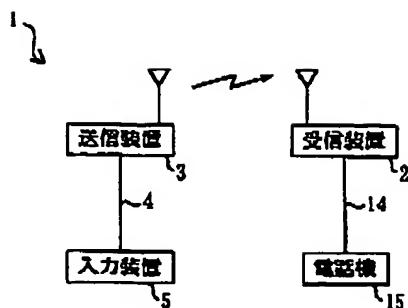
52 電話機接続手段

53 自動ダイヤル手段

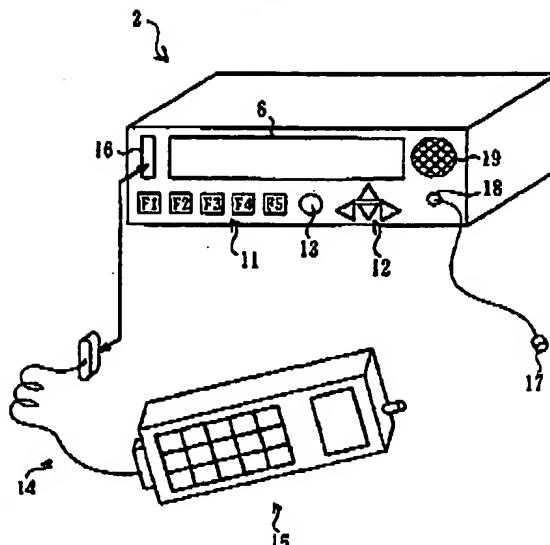
54 送受話手段

55 登録手段

【図1】



【図2】



【図3】

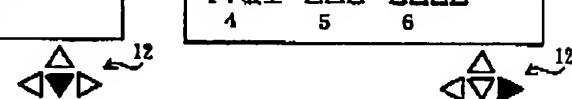
1. ダイヤル ××-△△△-○○○○  
短縮1 短縮2 短縮3 先着/応答

【図4】

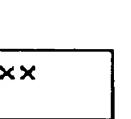
着信: △△-△△△-○○○○

1 : 山田 ×××-××××

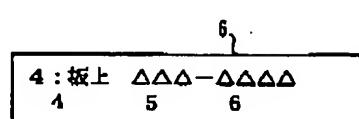
4 : 板上 △△△-△△△△



【図5】

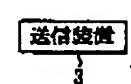


【図6】



【図7】

14 : 青木 ○○○-○○○○  
14 15 16



【図8】

